



9月になって、しのぎやすい気温になってきましたね。2学期がはじまり忙しく過ごしていることと思いますが、ぜひ図書室へも足を運んでくださいね。



しんちゃくとしょ  
イチオシ新着図書

くわそうかがくどくほん  
『ジュニア空想科学読本』

やなぎたり か お かどかわ ぶんこ すみじ てんじ  
(柳田理科雄 著 角川つばさ文庫 墨字、点字)

アンパンマンにドラえもん、かぐや姫におおきなかぶ…。アニメや漫画、昔話などを科学的な関心から紐解いていくと、人間の想像力の豊かさにわくわくしてくる！新しく図書室に入った19巻も、ゲーム「マイクラフト」の疑問や、絵本「ぐりとぐら」のカステラの大きさの検証など盛りだくさんです。

せかい つな あ はねだひか どくしょびより すみじ  
『世界と繋がり合えるなら』(羽田光夏 著 読書日和 墨字)

みじゆくじもうまくしょう ぜんもう ちよしゃ しじん  
未熟児網膜症によりうまれつき全盲の著者が、詩人として世界と繋がりたいと願って出版した第一詩集。歌のような、涙のような、願いのような、みずみずしい一冊です。

この2冊など、8月にはあわせて約20冊の新着図書がありました。

## ☆ 9月のピックアップ

『お月さまってどんなあじ?』(ミヒヤエル・グレイニェク 作

セーラー出版 墨字絵本、点字シール付)

「お月さまってどんなあじなんだろう。ほんのひとくち、たべてみた  
いね」いつもそう<sup>おも</sup>思うものの、動物<sup>どうぶつ</sup>たちがどんなに<sup>てあし</sup>手足をのばしても、  
お月さまには<sup>とど</sup>届きません。ところがある日、小さな<sup>ひ ちい</sup>カメが<sup>けっしん</sup>決心しました。  
<sup>いちばんたか</sup>一番高い<sup>やま</sup>あの山に<sup>のぼ</sup>登って、お月さまをかじってみよう!

『なぞなぞライオン』(佐々木マキ 作 <sup>りろんしゃ</sup>理論社 墨字・点字)

女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>が森<sup>もり</sup>できのこをとっていると、ライオンが「おまえをたべて  
やる!」と<sup>い</sup>言<sup>だ</sup>ってとび出<sup>だ</sup>してきました。女の子は、「あたしの出すなぞ  
なぞにこたえられたら、たべてもいいわ」と言<sup>い</sup>って…。このほかに、女  
の子が<sup>はやくちことば</sup>へびと早口言葉で<sup>しょうぶ</sup>勝負する<sup>はなし</sup>話、サイとしりとり<sup>たいけつ</sup>対決をする話<sup>はなし</sup>が  
入っています。

## ☆ 『つえぽんのおすすめ図書だより』第3号が発行されました

<sup>こんかい</sup>今回から、本の<sup>しょうかいぶん</sup>紹介文に加えて、「おもしろい度：星<sup>ど ほし</sup>5つ」というよう  
に、☆印<sup>ほしじるし</sup>で<sup>てんすうひょうか</sup>点数評価がつくようになりました。気になる本があったら、  
リクエストも<sup>う っ</sup>受け付けていますので、ぜひ<sup>こえ</sup>お声がけください。

☆ 9月16日(水)、17日(木)は司書が不在です

